



e-Success-V6.5
一括取込フィルター
操作マニュアル

2026 年 5 月 11 日

目 次

■更新履歴	3
はじめに	4
本マニュアルの使い方	4
システムの環境	4
◆導入・設定編◆	5
1. 一括取込フィルターについて	6
A. 一括取込フィルターの概要	6
2. 一括取込フィルターのインストール	7
A. 一括取込フィルターのインストール	7
B. 一括取込フィルターをインストールする (ScanSave-V4 のユーザー)	7
◆書類作業編◆	9
1. 起動方法と終了方法	10
A. 一括取込フィルターを起動する	10
B. 一括取込フィルターを終了する	10
2. 仕分け (フィルタリング) 作業	11
A. 一括取込フィルターによる仕分けの作業手順	11
3. エラーメッセージ一覧	15
A. 通常エラー	15
B. ファイルエラー	16
C. 入力エラー	17
制限・注意事項一覧	18

■更新履歴

◆注意◆ お問い合わせ

製品の不具合、機能の修正、ライブラリの更新などの製品の改訂履歴につきましては、セットアップファイルに含まれております「e-Success-V6.5.0 はじめにお読みください.txt」を確認してください。

◆注意◆ マニュアルに記載がなく、関連性のない操作について

本製品をご利用するに当たり、マニュアルに記載がない、もしくは関連性のない操作につきましては、サポート対象外となります。あらかじめご了承ください。

2023/05/01 初版発行
2024/06/27 改訂 製品のバージョンを e-Success-V6.2 に変更
2024/11/01 改訂 製品のバージョンを e-Success-V6.3 に変更
2025/02/03 改訂 製品のバージョンを e-Success-V6.4 に変更
2026/05/11 改訂 製品のバージョンを e-Success-V6.5 に変更

本マニュアルの使い方

本マニュアルは「導入・設定編」、「書類作業編」の2部に分かれています。

「導入・設定編」

一括取込フィルターの概要と起動と終了の方法について記載しています。

一括取込フィルターの導入手順については、「e-Success 導入・運用マニュアル」を参照してください。

「書類作業編」

一括取込フィルターの書類の仕分け作業の手順について記載しています。

システムの環境

■インストールに必要な環境（クライアント）

「e-Success 一括取込フィルター」をご利用になるには、以下の環境が必要です。

項目	内容
対応 OS	Windows® 10（32ビット/64ビット）日本語版 Windows® 11（64ビット）日本語版

○Windows 10 の場合

項目	内容
CPU	インテル® Core™ i3 以上のプロセッサ
必要メモリ容量	2.0 GB 以上（4.0 GB 以上を推奨）
ハードディスク	空き容量 1GB 以上
ディスプレイ解像度	1280×768 ドット以上
その他	Microsoft® .NET Framework 4.8 Microsoft® .NET Framework 言語パック（日本語）（上記と同じバージョン）

○Windows 11 の場合

項目	内容
CPU	インテル® Core™ i3 以上のプロセッサ
必要メモリ容量	6.0 GB 以上（8.0 GB 以上を推奨）
ハードディスク	空き容量 1GB 以上
ディスプレイ解像度	1280×768 ドット以上
その他	なし

◆注意◆ OS を Windows11 にアップグレードすることを検討中のお客様へ

- Windows11 の対応プロセッサは、64-bit プロセッサだけです。32-bit プロセッサが搭載されている PC に Windows11 をインストールすることはできません。
現在、32-bit 版の Windows OS を利用されている方が、Windows11 上で e-Success を利用するには、Windows11 に対応した PC を用意する必要があります。
- 64-bit プロセッサ搭載の PC に 32-bit 版の Windows OS をインストールして利用されている場合、Windows11 へアップグレードすることができません。
そのような環境の場合には、Windows11 を新規インストールする必要があります。

◆導入・設定編◆

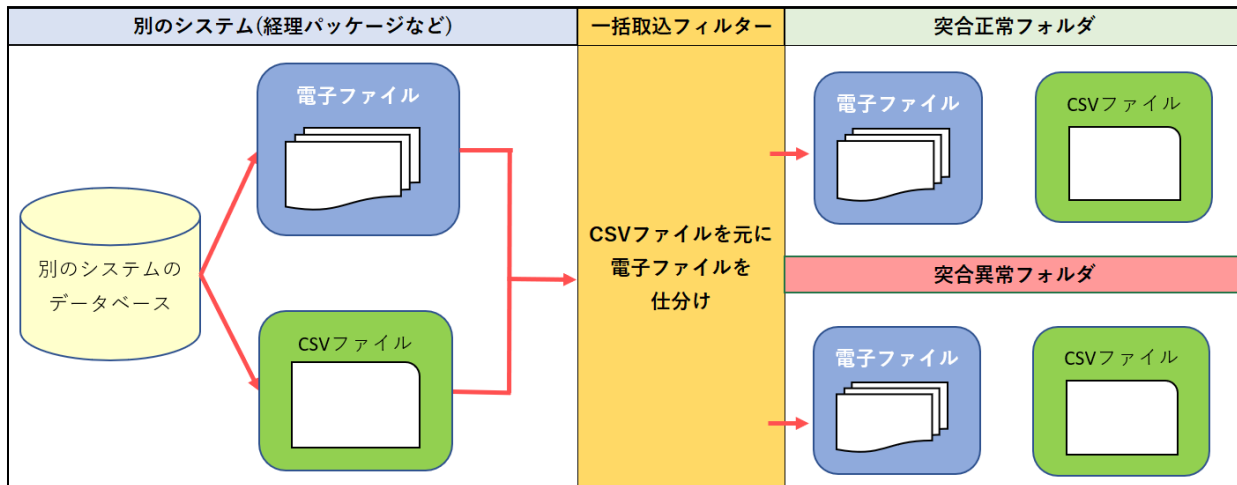
一括取込フィルターの概要と、導入の手順について説明します。

1. 一括取込フィルターについて

A. 一括取込フィルターの概要

一括取込フィルターは、e-Success-V6, V5, ScanSave-V4 の「他システムデータの一括取込」で書類データと電子ファイルを取り込む前に、書類データ CSV ファイル（以降「書類データ」と言う）と電子ファイルを突合して、書類データのエラーをチェックし、電子ファイルを「突合正常フォルダ」と「突合異常フォルダ」に分類仕分けするクライアント専用アプリケーションです。

また、e-Success の「書類データの先行取込」と「電子ファイルの取込」の事前確認にもご利用いただけます。



検査を実行する前に、別のシステムからエクスポートした CSV ファイルと電子ファイルを用意します。

用意したファイルを「一括取込フィルター」で検査すると、書類データのファイル名と電子ファイル名が一致し、かつ書類データに不備がなかったデータは「突合正常フォルダ」に仕分けされます。

書類データにファイル名のない電子ファイルと、書類データ内容に不備のある電子データは「突合異常フォルダ」仕分けされます。

○突合正常フォルダに仕分けされるもの

- ・ 書類データのファイル名と一致した電子ファイル
- ・ 電子ファイル名とファイル名が一致し、かつ記載に不備のない書類データを集めた CSV ファイル

○突合異常フォルダに仕分けされるもの

- ・ 書類データにファイル名のない電子ファイル
- ・ 書類データにファイル名がない電子ファイル名と、記載に不備のある書類データを集めた CSV ファイル

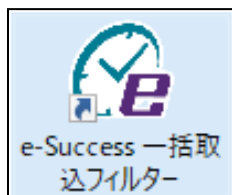
◆注意◆ フィルタリング可能件数

1 回の操作で分類仕分けできる書類データの件数は、最大 20,000 件です。

2. 一括取込フィルターのインストール

A. 一括取込フィルターのインストール

一括取込フィルターは、e-Success アプリケーションのインストール時に合わせてインストールされます。また、デスクトップとスタートメニューにも一括取込フィルターのショートカットが生成されます。



デスクトップの一括取込フィルターショートカット

Standard/Pro をご購入された方のインストール方法について

e-Success Standard/Pro のご購入された方は、「e-Success 導入・運用マニュアル」の「導入・設定編」の「4. e-Success のインストール」を確認してください。

Lite をご購入された方のインストール方法について

e-Success Lite のご購入された方は、「e-Success-Lite 導入・操作マニュアル」の「導入・設定編」の「1. インストール」を確認してください。

B. 一括取込フィルターをインストールする (ScanSave-V4 のユーザー)

一括取込フィルターは、ScanSave-V4 ユーザー向けに、単体でもご提供します。この場合、インストーラーはありませんので手作業での導入になります。

入手された e-Success 一括取込フィルターのセットアップメディア（ZIP ファイル）を事前に解凍して導入作業をしてください。

e-Success 一括取込フィルターのセットアップメディア（ZIP ファイル）内の構成は次の通りです。

名前	説明
docs（フォルダー）	e-Success 一括取込フィルター操作マニュアル.pdf（本書）が入っています。
exe（フォルダー）	一括取込フィルターの実行ファイルが入っています。
Installer（フォルダー）	.NET Frameworks 4.8 のインストーラー（ndp48-x86-x64-allos-enu.exe）が入っています。
readme.txt	e-Success 一括取込フィルターのセットアップメディア（ZIP ファイル）についての説明書です。

① Windows7 をご利用の場合は、初めに「.NET Frameworks 4.8」をインストールします。Installer のフォルダを開き「ndp48-x86-x64-allos-enu.exe」を起動して、表示に従ってインストールしてください。

	ndp48-x86-x64-allos-enu.exe	2021/09/11 22:32	アプリケーション	118,464 KB
--	-----------------------------	------------------	----------	------------

◆ヒント◆ .Net Framework 4.8 のダウンロードについて

「.NET Frameworks 4.8」は、下記の URL よりダウンロードできます。
<https://go.microsoft.com/fwlink/?linkid=2088631>

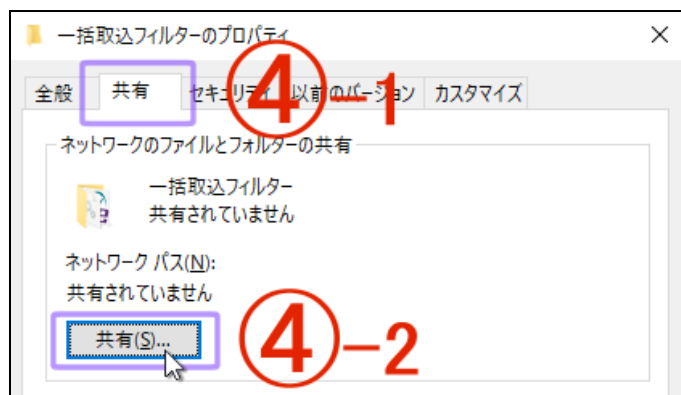
◆ヒント◆ Windows 8.1/10 をご利用の場合

Windows 8.1/10 では、.NET Frameworks 4.8 または それ以降のバージョンが導入済みのため、この作業は不要です。

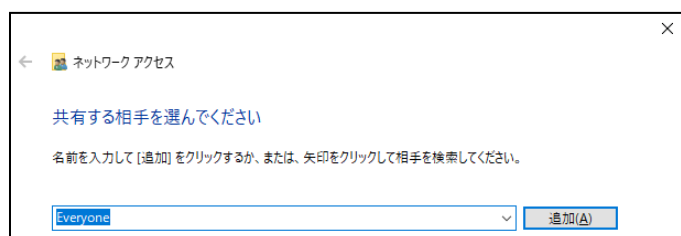
② 解凍した e-success 一括取込フィルターのセットアップメディアから、「exe」フォルダーを選択し、管理者ユーザーと一般ユーザーで共有可能な任意のパスにコピーします。

例えば、C ドライブの直下にコピーして、フォルダー名を「一括取込フィルター」に変更します。

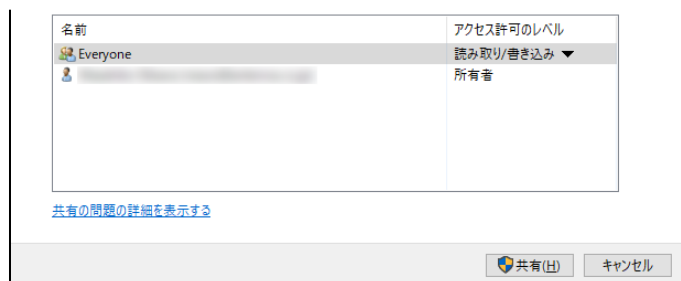
- ③ 一般ユーザーでサインインしていても実行できるように、共有の設定をしてください。
コピーしたフォルダーを右クリックして表示されるメニューから「プロパティ」をクリックします。
- ④ プロパティ画面が表示されたら「共有」タブをクリックし、「共有」ボタンをクリックします。



- ⑤ 共有する相手の選択画面で、プルダウンリストより「Everyone」を選択し、「追加」をクリックします。



- ⑥ 追加した「Everyone」の右のアクセス許可のレベル項目をクリックして、「読み取り/書き込み」を選択してから「共有」をクリックし、「ユーザーのフォルダは共有されています。」と表示されたら「終了」をクリックします。その後、プロパティ画面に戻ったら「閉じる」をクリックして、プロパティ画面を閉じます。



- ⑦ 管理者ユーザーをサインアウトし、一般ユーザーでサインインして、エクスプローラーで、C:ドライブ直下にコピーした「一括取込フィルター」のフォルダを開きます。
- ⑧ 「e-SuccessImportFilter.exe」を右クリックして表示されるメニューから、「ショートカットの作成」を選ぶとショートカットが作成されます。その後、作成したショートカットをデスクトップに移動すれば完了です。

◆ヒント◆ 一般ユーザーをサーバー上で管理している場合

Windows のユーザーをサーバー上で管理している場合は、次のように対応してください。

- ① 管理者ユーザーでサインインして、管理者ユーザーと一般ユーザーで共有している任意のフォルダーに、e-Success 一括取込フィルターのセットアップメディアの「exe」フォルダーをコピーし、フォルダー名を「一括取込フィルター」に変更します。
- ② 管理者ユーザーをサインアウトした後、一般ユーザーでサインインし、先ほど共有した「一括取込フィルター」を一般ユーザーの任意のフォルダにコピーします。
- ③ コピーした「一括取込フィルター」のフォルダーを開き、「e-SuccessImportFilter.exe」のショートカットを作成してデスクトップに移動します。ショートカットから一括取込フィルターが起動できれば完了です。

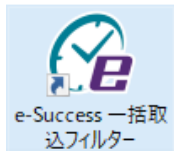
◆書類作業編◆

実際の書類をスキャンして、一括取込フィルターで仕分けする際の作業手順について説明します。

1. 起動方法と終了方法

A. 一括取込フィルターを起動する

デスクトップに作成された「一括取込フィルター」のショートカットをダブルクリックすると、一括取込フィルターが起動します。



B. 一括取込フィルターを終了する

一括取込フィルターを終了するには、ウィンドウ右上の「×」をクリックします。



2. 仕分け(フィルタリング)作業

A. 一括取込フィルターによる仕分けの作業手順

一括取込フィルターは、以下の手順で行います。

① あらかじめ、他のシステムから出力して加工した書類データの CSV ファイルを用意します。使用できる CSV ファイルの仕様は、書類データの仮取込と同じです（e-Success 操作マニュアルのデータ連携編「1.仮取込データの利用」を参照してください）。この書類データでは、その他項目 1（7 列目）～その他項目 6（12 列目）のいずれかに電子ファイルのファイル名が格納されている必要があります。

以下のサンプルでは、その他項目 1（7 列目）の「ファイル名」列にファイル名が格納されています。

書類データ例：

```
"書類種類ID","拠点コード","日付","金額","取引先名","品名","その他1","その他2","その他3","その他4","その他5","その他6","備考"
"1","1","2018/1/1","10000","株式会社AAA","","","scan000000124","000000124","その他3_1","その他4_1","その他5_1","その他6_1","備考1"
"1","1","2018/1/2","11000","株式会社BBB","","","scan000000125","000000125","その他3_2","その他4_2","その他5_2","その他6_2","備考2"
"1","1","2018/1/3","12000","株式会社CCC","","","scan000000126","000000126","その他3_3","その他4_3","その他5_3","その他6_3","備考3"
"1","1","2018/1/4","13000","株式会社DDD","","","scan000000127","000000127","その他3_4","その他4_4","その他5_4","その他6_4","備考4"
"1","1","2018/1/5","14000","株式会社EEE","","","scan000000128","000000128","その他3_5","その他4_5","その他5_5","その他6_5","備考5"
```

◆ヒント◆ CSV ファイルのレイアウトバージョンが V5/V4 の場合

一括取込フィルターでは、e-Success-V5 もしくは ScanSave-V4 をご利用されているユーザー向けに、「その他項目 4」（10 列目）まで対応した CSV ファイルも使用可能です。

もし e-Success-V5 もしくは ScanSave-V4 の CSV ファイルを使用する際は、⑤の設定の「レイアウト」で「V5/V4」を選択してください。

② インポートする書類データと一致する電子ファイルを準備します。このとき、電子ファイルは、システムで設定している証明書方式（PAdES または XAdES）で利用できる種類（PDF、JPEG、PNG、TIFF、XDW(DocuWorks) ファイル、CSV、Office ファイル(.DOC, .DOCX, .XLS, .XLSX, .PPT, .PPTX)）のファイルを用意してください。

※ DocuWorks は、富士フイルムビジネスインノベーション株式会社の商標または登録商標です。

③ 一括取込フィルターを起動します。

④ [参照] ボタンをクリックし、CSV ファイルを指定して [開く] ボタンをクリックします。

他システムデータの一括取込時に使用するCSVファイルを指定してください。

CSVファイル ④ 参照

文字エンコード ☒ Shift-JIS ☐ UTF-8 ⑤ レイアウト ☒ V6 ☐ V5/V4 ⑥ 電子ファイルの設定へ

【重要】「一括取込フィルター」利用における注意事項と前提条件

- ・「他システムデータの一括取込」の事前処理として必要に応じてご利用ください
- ・e-Successの書類データ用CSVファイルの項目と仕様に準拠したCSVであること
- ・書類種類マスタで登録されている書類種類IDが指定されていること
- ・拠点マスタで登録されている拠点コードが指定されていること
- ・1回の操作でインポートできる件数は、最大2万件であること

⑤ 読み込む CSV ファイルを指定してから、「文字エンコード」から CSV ファイルの文字エンコードと「レイアウト」から CSV ファイルのレイアウトバージョンを選択します。

⑥ ⑤の設定完了後、「電子ファイルの設定へ」ボタンをクリックします。

⑦ 電子ファイルについての設定項目が表示されるので、「ファイル名の列」項目で、電子ファイル名が格納されている CSV の列を指定します。その他項目 1～6 から選択してください。

電子ファイル名が格納されている列は、電子ファイルが保存されているフォルダを指定して、[移動先の設定へ]ボタンをクリックしてください。

電子ファイル名の列 ☒ その他1 ☐ その他2 ☐ その他3 ☐ その他4 ☐ その他5 ☐ その他6 ⑦ 電子ファイルの拡張子 ☐ あり ☒ なし ⑧

電子ファイル保存フォルダ 参照 ⑨

移動先の設定へ ⑩ キャンセル

⑧ [電子ファイルの拡張子] で、CSV に格納されている電子ファイル名に拡張子があるのか、ないのかを指定します。

電子ファイルが各種混在している場合は拡張子が必要なので「あり」を指定します。拡張子が省略されている場合は「なし」を指定します。

対象の拡張子は、PDF、JPEG、PNG、TIFF、XDW(DocuWorks)、CSV、Office ファイル (.DOC, .DOCX, .XLS, .XLSX, .PPT, .PPTX) が対象となります

◆注意◆ [電子ファイルの拡張子] で選択の誤りによるファイル名の不一致

[電子ファイルの拡張子] の選択の誤りで、CSV ファイルの書類データのファイル名と実際の電子ファイルのファイル名で、不一致のエラーが起きることが各所見受けられるようになりました。
書類データのファイル名に記載されているその他の項目の内容を確認し、[電子ファイルの拡張子] を正しく選択してください。

⑨ [電子ファイル保存フォルダ] で、一括取込用の電子ファイルが置かれている場所を指定します。[参照ボタン] をクリックすると「フォルダーの参照」画面が表示されるので、電子ファイルが保存されているフォルダーを指定してください。また、フォルダーの表示ボックス内をクリックすることで、キーボードでの入力・編集もできます。

◆ヒント◆ 電子ファイル保存フォルダの既定値と選択

[電子ファイル保存フォルダ] の表示ボックスには、前回実行時のフォルダがセットされます。また、電子ファイル保存フォルダの [参照] ボタンをクリックすると、前回使用したフォルダが選択された状態で参照画面が表示され、別のフォルダに変更できます。前回使用したフォルダが存在しない場合は、[デスクトップ] が選択された状態になります。

⑩ [移動先の設定へ] ボタンをクリックしてください。[移動先の設定へ] ボタンをクリックすると、チェックの実行で振り分けられる電子ファイルの移動先指定欄が表示されます。

一括取込チェック時の電子ファイルの移動先を指定してください。(ERRORの場合、CSVのレコードもしくは電子ファイル名に整合性が取れていない可能性があります)

突合正常ファイルの移動先 参照 ⑪

突合異常ファイルの移動先 参照

一括取込チェック時の設定へ ⑫ キャンセル

⑪ 「突合正常ファイルの移動先」と「突合異常ファイルの移動先」の両方で移動先のフォルダーを指定します。

⑫ 移動先の設定したら、[一括取込チェック時の設定へ] ボタンをクリックします。

⑬ 一括取込フィルターによるチェック時とチェック完了後の処理の指定項目が表示されます。各種処理の詳細は、次の表の内容通りになります。

一括取込チェック完了後の動作を指定して、[一括取込チェック]ボタンをクリックしてください。 ※CSVファイルを「指定先に移動」を設定した際、指定先に同名のCSVがある場合はファイルを上書きします。

CSVファイル ⑬ ☒ 何もしない ☐ 指定先に移動 ☐ 削除 CSVファイルの移動先 参照

移動先に同名の電子ファイルが存在した時 ☐ 上書き ☒ 処理を中止 一括取込チェック ⑭ キャンセル

各種チェック時とチェック完了後の詳細な処理は、以下になります。

CSV ファイル	「何もしない」・・・何も処理を実行しません。 「指定先に移動」・・・指定した移動先に CSV ファイルを移動します (移動先に同名に CSV ファイルが存在する場合、強制的に上書きします) 「削除」・・・CSV ファイルを削除します。
移動先フォルダ	「CSV ファイル」を「指定先に移動する」を選択しているときの、取込完了後の CSV ファイル移動先を選択します。 「参照」ボタンを押すことで、フォルダブラウザを開いて選択することができれば、表示枠内に直接キーボード入力することも可能です。
移動先に同名の電子ファイルが存在したとき	「上書き」・・・何も処理を実行しません。 「処理を中止」・・・指定した移動先に CSV ファイルを移動します (移動先に同名に CSV ファイルが存在する場合、強制的に上書きします)

◆注意◆「CSV ファイル」の後処理について

「CSV ファイル」の項目で設定した後処理ですが、通常エラー、致命的エラーが発生することなくかつ仕分けしたファイルが全て「OK フォルダ」へ移動した場合のみに実行されます。
1 つでもエラーが発生してしまうと、処理は実行されませんのでご注意ください。

⑭ チェック時とチェック完了後の動作を設定したら、「一括取込チェック」ボタンをクリックすると確認メッセージが表示されるので、「同意して処理を実行する」ボタンをクリックします。

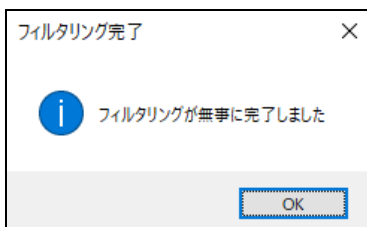
「一括取込フィルター」をご利用の際は、以下の要件が確保されていることが前提となっています。

- ・e-Successの書類データ用CSVファイルの項目と仕様に準拠したCSVであること
- ・書類種類マスタで登録されている書類種類IDが指定されていること
- ・拠点マスタで登録されている拠点コードが指定されていること
- ・1回の操作でインポートできる件数は、最大2万件であること

同意して処理を実行する

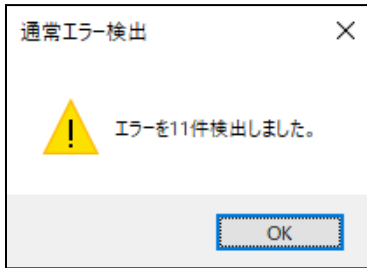
キャンセル

⑮ エラーを検出することなく処理が完了すると、次のように「フィルタリングを完了しました」と表示されます。この場合、電子ファイルは全て「突合正常ファイルの移動先」に設定したフォルダーへ移動します。



「通常エラー（CSV レコードエラーと突合エラー）」が発生した場合、それぞれのエラー数を合計した値を「エラーを〇件検出しました」と表示します。また、エラー情報の一覧リストにエラーの詳細が表示され、リストの上には仕分け結果の件数を表示します。「通常エラー」については、この後の「通常エラー」を参照してください。

この場合、突合正常となった電子ファイルは、「突合正常ファイルの移動先」に設定したフォルダーへ移動し、通常エラーと突合エラーとなった電子ファイルは「突合異常ファイルの移動先」に設定したフォルダーへ移動します。



実行結果 電子ファイル総件数: 23 件 CSV総行数: 22 件 ペア件数: 17 件 合計エラー件数: 11 件 CSVレコードエラー件数: 0 件 突合エラー件数: 11 件 (ファイルなし: 5 件 レコードなし: 6 件)								
結果詳細	書類種類ID	拠点コード	日付	金額	取引先名	品名	その他1	ヘ
CSVに書かれているファイル名 'user07 (38)' に相当する電...	2	1	2016/8/5	10018	株式会社018	テスト38	user07 (38)	
CSVに書かれているファイル名 'user07 (39)' に相当する電...	2	1	2016/8/5	10019	株式会社019	テスト39	user07 (39)	
CSVに書かれているファイル名 'user07 (40)' に相当する電...	2	1	2016/8/6	10020	株式会社020	テスト40	user07 (40)	
CSVに書かれているファイル名 'user07 (41)' に相当する電...	2	1	2016/8/7	10021	株式会社021	テスト41	user07 (41)	
CSVに書かれているファイル名 'user07 (55)' に相当する電...	2	1	2016/8/8	10024	株式会社024	テスト44	user07 (55)	
電子ファイル 'user07 (1)' に相当するファイル名が、CSVにあ...							user07 (1)	
電子ファイル 'user07 (2)' に相当するファイル名が、CSVにあ...							user07 (2)	

電子ファイル名が格納されている列と、電子ファイルが保存されているフォルダを指定して、[移動先の設定へ]ボタンをクリックしてください。

エラー情報の一覧

実行結果 電子ファイル総件数: 23 件 CSV総行数: 22 件 ペア件数: 17 件 合計エラー件数: 11 件 CSVレコードエラー件数: 0 件 突合エラー件数: 11 件 (ファイルなし: 5 件 レコードなし: 6 件)								
結果詳細	書類種類ID	拠点コード	日付	金額	取引先名	品名	その他1	ヘ
CSVに書かれているファイル名 'user07 (38)' に相当する電...	2	1	2016/8/5	10018	株式会社018	テスト38	user07 (38)	

仕分の実行結果

仕分けの実行結果の各項目の意味

項目名	説明
電子ファイル総件数	⑧で指定した「電子ファイル保存フォルダ」にある、電子ファイルの総数
書類データ総行数	CSV ファイル内にある書類データの総数
ペア件数	書類データに記入ミスがなく、書かれている電子ファイルが存在したデータの件数
合計エラー件数	「エラー書類データ件数」と「突合エラー件数」の合計数
エラー書類データ件数	記入ミスのある書類データの件数
突合エラー件数	突合エラーの合計数
電子ファイルなし	突合エラー件数のうち、書かれている電子ファイルが存在しない書類データの件数
書類データなし	突合エラー件数のうち、書類データに書かれていない電子ファイルの数

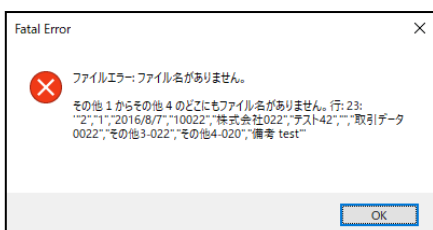
⑩ 処理が完了すると、「突合正常ファイルの移動先」には、突合エラーのない書類データのみの CSV ファイル（ファイル名：SSImportOK_xxxxx.csv）が出力されます。

「突合異常ファイルの移動先」には、CSV レコードエラーのあった書類データと、突合エラーのあった電子ファイルと書類データをまとめた CSV ファイル（ファイル名：SSImportFilePairError_xxxxx.csv）が出力されます。
 ※「突合正常ファイルの移動先」と「突合異常ファイルの移動先」に出力される CSV ファイルの書類データの順序は、元の CSV ファイルと異なることがあります。

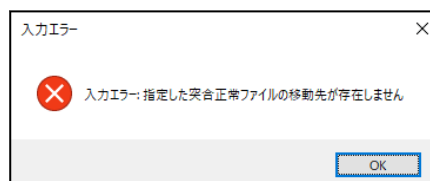
一括取込フィルターによる仕分け作業は、以上です。

◆注意◆ ファイルエラーと入力エラー

書類データ内容に問題があるか、CSV ファイルに問題がある場合「ファイルエラー」が表示されます。
 設定項目の指定内容に問題がある場合「入力エラー」が表示されます。
 どちらの場合も、仕分けは実行されません。指摘されたエラーを解消してから [一括取込チェック] を実行してください。
 エラーの詳細は、この後の「ファイルエラー」と「入力エラー」を参照してください。



「ファイルエラー」の表示例



「入力エラー」の表示例

3. エラーメッセージ一覧

A. 通常エラー

「エラー情報の一覧」の「結果詳細」に表示されるエラーメッセージについて説明します。

メッセージ	詳細表示	説明
突合エラー	CSV に書かれているファイル名 [ファイル名] に相当する電子ファイルがありません。	CSV ファイルのレコードにファイル名が記入されていますが、実際のファイルが見つからない状態です。
突合エラー	電子ファイル [ファイル名] に相当するファイル名が、CSV にありません。	実際のファイルは存在しますが、CSV のレコードにファイル名の記入がない状態です。
日付の形式が不正です。	行: [行番号]: 列: 3: 日付の形式は、'YYYY/M/D', 'YYYY/M/DD', 'YYYY/MM/D'か'YYYY/MM/DD'です。	報告のあった CSV ファイル内のレコードの日付が、形式に沿って記入されていない状態です。
取引先名が長すぎます。	行: [行番号]: 列: 5: 取引先名は 200 文字以内です。	報告のあった CSV ファイル内のレコードの取引先名が、200 文字以内で記入されていない状態です。
品名が長すぎます。	行: [行番号]: 列: 6: 品名は 200 文字以内です。	報告のあった CSV ファイル内のレコードの品名が、200 文字以内で記入されていない状態です。
その他 1 が長すぎます。	行: [行番号]: 列: 7: その他 1 は 200 文字以内です。	報告のあった CSV ファイル内のレコードのその他 1 が、200 文字以内で記入されていない状態です。
その他 2 が長すぎます。	行: [行番号]: 列: 8: その他 2 は 200 文字以内です。	報告のあった CSV ファイル内のレコードのその他 2 が、200 文字以内で記入されていない状態です。
その他 3 が長すぎます。	行: [行番号]: 列: 9: その他 3 は 200 文字以内です。	報告のあった CSV ファイル内のレコードのその他 3 が、200 文字以内で記入されていない状態です。
その他 4 が長すぎます。	行: [行番号]: 列: 10: その他 4 は 200 文字以内です。	報告のあった CSV ファイル内のレコードのその他 4 が、200 文字以内で記入されていない状態です。
その他 5 が長すぎます。	行: [行番号]: 列: 10: その他 5 は 200 文字以内です。	報告のあった CSV ファイル内のレコードのその他 5 が、200 文字以内で記入されていない状態です。
その他 6 が長すぎます。	行: [行番号]: 列: 10: その他 6 は 200 文字以内です。	報告のあった CSV ファイル内のレコードのその他 6 が、200 文字以内で記入されていない状態です。
備考が長すぎます。	行: [行番号]: 列: 11: 備考は 200 文字以内です。	報告のあった CSV ファイル内のレコードの備考が、200 文字以内で記入されていない状態です。

B. ファイルエラー

書類データ内容に問題があるか、CSV ファイルに問題がある場合に表示されるエラーです。
 ファイルエラーがある場合、一括取込チェックは実行できません。CSV ファイルを修正してください。

メッセージ	詳細表示	説明
ファイル名がありません。	その他 1 からその他 6 のどこにもファイル名がありません。行: [行番号]: [レコード情報]	指定した CSV ファイル内の、[行番号] 目のレコードに、電子ファイル名がありません。
ヘッダが読めません:	CSV 形式が不正か、エンコーディングが間違っています。	CSV のカラムの記入形式もしくは、保存した文字エンコードと指定した文字エンコードが異なっている可能性があります
データが読めません	フィールド値の形式が不正です	CSV ファイルの 1 つのレコードのフィールドに不正な値、形式を記入している状態です
データが読めません	CSV 形式が不正か、フィールド数が合っていない	CSV ファイルの 1 つのレコードがフィールドの数が、他のレコードのフィールドの数と合っていない可能性があります。
データが読めません	CSV 形式が不正か、エンコーディングが間違っています。	CSV の記入形式もしくは、保存した文字エンコードと指定した文字エンコードが異なっている可能性があります
データが読めません	CSV 形式が不正か、フィールド数が合っていないか、フィールド値の形式が不正です。	CSV ファイルの 1 つのレコードのフィールドに不正な値、形式を記入している状態です
CSV が読めません	CSV 形式が不正か、エンコーディングが間違っています。	CSV ファイル自体の形式と、保存した文字エンコードと指定した文字エンコードが異なっている可能性があります
内部エラー。	CSV レコード辞書に [ファイル名] のデータがありません。	指摘した CSV ファイル内のレコードにファイル名がない状態です。
同じファイル名で、違う書類種別 ID です。	行: [行番号]: 列: 1: [レコード情報]	CSV ファイル内の複数のレコードに、同じファイル名が 2 つ以上存在している状態です。
書類種別 ID がありません。	行: [行番号]: 列: 1: [レコード情報]	報告のあった CSV ファイル内のレコードの書類種別 ID が、記入されてない状態です。
拠点コードがありません。	行: [行番号]: 列: 2: [レコード情報]	報告のあった CSV ファイル内のレコードの拠点コードが、記入されてない状態です。
書類種別 ID が数値ではありません。	行: [行番号]: 列: 1: [レコード情報]	報告のあった CSV ファイル内のレコードの書類種別 ID が、数値で記入されてない状態です。
拠点コードが数値ではありません。	行: [行番号]: 列: 2: [レコード情報]	報告のあった CSV ファイル内のレコードの拠点コードが、数値で記入されてない状態です。
ファイル [ファイル名] が読めません。	なし	ファイルそのものが読めない状態です。CSV 以外のファイルが読み込まれている可能性があります。
ファイル [ファイル名] が書きけません。	なし	ファイルの出力/書き込みができない状態です。CSV ファイル出力時に、何らかの致命的エラーが発生しております。
なし	パスが Null か空文字列です。	ファイル/ディレクトリ (フォルダー) のパスが設定されていません。
なし	ファイル [パス] が見つかりません。	指定したパスにファイルが見つかりません。
なし	ディレクトリ [パス] が見つかりません。	指定したパスにディレクトリ (フォルダー) が見つかりません。
なし	移動元のパスが Null か空文字列です。	ファイルの移動元のパスが設定されていません。
なし	移動先のパスが Null か空文字列です。	ファイルの移動先のパスが設定されていません。
なし	移動先のディレクトリ [パス] が見つかりません。	指定した移動先のパスにディレクトリ (フォルダー) が見つかりません。
なし	IO エラーです。移動元 [ディレクトリパス], 移動先 [ディレクトリパス]	指定した移動元・移動先のディレクトリ (フォルダー) で、入出力時の致命的エラーが発生しています。
なし	例外が発生しました。移動元 [ディレクトリパス], 移動先 [ディレクトリパス]	指定した移動元・移動先のディレクトリ (フォルダー) で、何らかの致命的エラーが発生しています。
なし	削除するパスが Null か空文字列です。	削除するファイル/ディレクトリ (フォルダー) のパスが設定されていません。

C. 入力エラー

設定項目の指定内容に問題がある場合に表示されるエラーです。

入力エラーがある場合、一括取込チェックは実行できません。指摘された項目の内容を修正してください。

メッセージ	説明
CSV ファイルを選択してください	書類データとなる CSV ファイルが選択されていません。
文字エンコードを選択してください	書類データとなる CSV ファイル保存時に設定した文字エンコードが選択されていません。
読み込む CSV ファイルが「Shift-JIS」で保存されていません	「文字エンコード」が「Shift-JIS」にチェックしているとき、読み込もうとしている CSV ファイルの文字エンコードが「Shift-JIS」形式で保存されていないことを通知します。
読み込む CSV ファイルが「UTF-8」で保存されていません	「文字エンコード」が「UTF-8」にチェックしているとき、読み込もうとしている CSV ファイルの文字エンコードが「UTF-8」形式で保存されていないことを通知します。
電子ファイル名の列を選択してください	電子ファイル名を記録しているカラムが選択されていません。
電子ファイルの拡張子を選択してください	対象となる電子ファイルの拡張子が選択されていません。
電子ファイルの保存先が存在しません	移動元となる電子ファイルの作業フォルダーが選択されていません。
指定した突合正常ファイルの移動先が存在しません	電子ファイルの移動先となる突合正常フォルダーが選択されていません。
指定した突合異常ファイルの移動先が存在しません	電子ファイルの移動先となる突合異常フォルダーが選択されていません。
指定した突合正常/突合異常ファイルの移動先が存在しません	電子ファイルの移動先となる突合正常と突合異常の両方のフォルダーが選択されていません。
「突合正常ファイルの移動先」と「電子ファイル保存フォルダー」が同じフォルダーです	設定した「突合正常ファイルの移動先」と「電子ファイル保存フォルダー」のフォルダーが、同じフォルダーを指定している状態です。
「突合正常ファイルの移動先」と「突合異常ファイルの移動先」が同じフォルダーです	設定した「突合正常ファイルの移動先」と「突合異常ファイルの移動先」のフォルダーが、同じフォルダーを指定している状態です。
「突合異常ファイルの移動先」と「電子ファイル保存フォルダー」が同じフォルダーです	設定した「突合異常ファイルの移動先」と「電子ファイル保存フォルダー」のフォルダーが、同じフォルダーを指定している状態です。
CSV ファイルの後処理を選択してください	フィルタリング完了後、書類データとなる CSV ファイルの処理が選択されていません
指定した CSV ファイルの移動先が存在しません	CSV ファイルの移動先が何も選択されていません。 これは、CSV ファイルの後処理を「指定先に移動」を選択しているときのみ表示します。
「CSV ファイルの移動先」と「電子ファイル保存フォルダー」が同じフォルダーです	設定した「CSV ファイルの移動先」と「電子ファイル保存フォルダー」のフォルダーが、同じフォルダーを指定している状態です。
「CSV ファイルの移動先」と「突合正常ファイルの移動先」が同じフォルダーです	設定した「CSV ファイルの移動先」と「突合正常ファイルの移動先」のフォルダーが、同じフォルダーを指定している状態です。
「CSV ファイルの移動先」と「突合異常ファイルの移動先」が同じフォルダーです	設定した「CSV ファイルの移動先」と「突合異常ファイルの移動先」のフォルダーが、同じフォルダーを指定している状態です。
読み込む「CSV ファイル」と「CSV ファイルの移動先」のパスが同じです	設定した「CSV ファイル」の親のフォルダーパスと「CSV ファイルの移動先」のフォルダーが、同じフォルダーを指定している状態です。

制限・注意事項一覧

■一括取込フィルターの最大件数

一括取込フィルターでは、1回の操作で最大 20000 件までのデータをインポートできます。20000 件を超える件数のデータをインポートする場合は、複数回の操作に分けて実行してください。

e-Success 一括取込フィルター 操作マニュアル

発行日 2024 年 11 月 1 日

改定日 2026 年 5 月 11 日

発行元 アンテナハウス株式会社
